

# 純正 自車位置演算ユニットセット

## 取付説明書

部品番号: DJ01 V6 600  
GL01 V6 600  
KF01 V6 600  
ND01 V6 600

適応車種: MAZDA ATENZA  
MAZDA AXELA  
MAZDA CX-3  
MAZDA CX-5(KE)  
MAZDA CX-5(KF)  
MAZDA DEMIO  
MAZDA ROADSTER

※ マツダコネクト装着車のみ

### ▲ 取付作業の前に必ず実施してください。

CMUのソフトウェアバージョンが古いと自車位置演算ユニットが正しく機能しません。  
ソフトウェアバージョンが「Ver.59.00.310」以降になっていない場合、ソフトウェアのアップデートを必ず先に実施してください。

この度はマツダ純正用品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

取付け作業を開始する前に、本説明書を必ず読んでください。

常に最良の状態でご使用いただくために、本説明書をよくお読みいただき、内容を理解された上で正しい取付けを行ってください。

#### <ご注意とお願い>

- 本説明書に示されている ▲警告マークと ▲注意マークは、取付け、取扱いに関する安全上の事項ですので、必ず厳守してください。

▲警告：警告事項を守らないと生命の危険、または重大な傷害につながるおそれがあります。

▲注意：注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷したりするなどのおそれがあります。

- 本説明書で締付けトルクを記載している部位は、トルクレンチを使用して規定トルクで締付け作業を行ってください。尚、締付けトルク値に ( ) がついている場合は、参考値であり、トルクレンチでの締付けは必須ではありません。
- 本説明書に記載されていない取付け、使用方法は絶対に行わないでください。
- 本商品を改造しての取付けは、絶対に行わないでください。
- 作業の安全性と信頼性確保のため、取付け・取外しの作業は、必ずマツダ販売店にて実施してください。
- 本商品の取付け、取扱い内容につきまして、ご不明な点がございましたら、商品購入先の販売店にお問い合わせください。
- 記載事項を守らなかった為に発生した不具合につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 取外した部品の紛失や傷つき、脂などの異物付着がないよう、十分注意してください。

マツダ株式会社  
広島県安芸郡府中町新地 3-1

共通-1

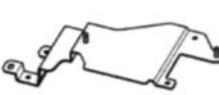
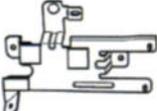
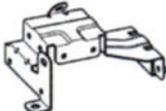
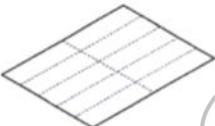
DJ01\_V6\_600\_01\_00

## 1. 構成部品

- 部品が全てあるか、また汚れ、傷、損傷がないか確認してください。
- 自車位置演算ユニットにはセンサーが内蔵されています。落としたりぶついたりなど、乱暴に扱わないでください。

### 【MAZDA ATENZA / MAZDA AXELA 用】

#### • 自車位置演算ユニットセット (GL01 V6 600)

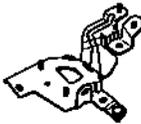
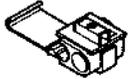
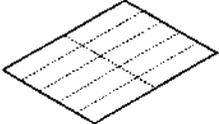
部 品	名 称	数 量	部 品	名 称	数 量
	自車位置演算ユニット (K131 66 DF0)	1		GNSS アンテナ (C900 V6 930)	1
	ブラケット (B60P 66 9BX) ※	1		ブラケット (B60P 66 9BY) ※	1
	ブラケット (G52M 66 9B0)	1		ブラケット (K132 66 9B0)	1
	ボルト (9946 30 620)	1		スクリュー (9974 00 510B)	4
	スクリュー (9974 00 616)	2		ナット (9989 10 600)	1
	ワッシャ (9995 20 500)	2		スクリュー (9YA5 50 501)	4
	ショートコード	1		電源中継コード	1
	エレクトロタップ	2		エレクトロタップ	1
	バンド (L=200mm)	10		スポンジテープ (100×30mm 10枚)	2
	USB ケーブル (灰/青-白)	1		取扱説明書 架装点検シート 部品構成表	各 1

※ TV チューナー装着車には使用しません。

- 部品が全てあるか、また汚れ、傷、損傷がないか確認してください。
- 自車位置演算ユニットにはセンサーが内蔵されています。落としたりぶつけたりなど、乱暴に扱わないでください。

### 【MAZDA CX-3/MAZDA DEMIO 用】

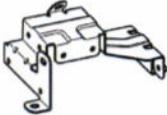
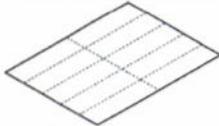
#### • 自車位置演算ユニットセット (DJ01 V6 600)

部 品	名 称	数 量	部 品	名 称	数 量
	自車位置演算ユニット (K131 66 DF0)	1		GNSS アンテナ (C900 V6 930)	1
	ブラケット (D25A 66 9B0)	1		ブラケット (D25M 66 9B1)	1
	スクリュー (9974 00 510B)	2		ワッシャ (9995 20 500)	2
	スクリュー (9YA5 50 501)	4		ショートコード	1
	電源中継コード	1		エレクトロタップ	2
	エレクトロタップ	1		バンド (L=200mm)	10
	スポンジテープ (100×30mm 10 枚)	2		USB ケーブル (灰/青-白)	1
	取扱説明書 架装点検シート 部品構成表	各 1			

- 部品が全てあるか、また汚れ、傷、損傷がないか確認してください。
- 自転車位置演算ユニットにはセンサーが内蔵されています。落としたりぶつけたりなど、乱暴に扱わないでください。

### 【MAZDA CX-5(KE) / MAZDA CX-5(KF)用】

#### • 自転車位置演算ユニットセット (KF01 V6 600)

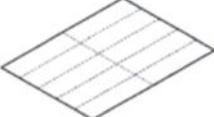
部 品	名 称	数量	部 品	名 称	数量
	自転車位置演算ユニット (K131 66 DF0)	1		GNSS アンテナ (C900 V6 930)	1
	ブラケット (K070 66 9BX) ※1	1		ブラケット (K070 66 9BY) ※1	1
	ブラケット (K132 66 9B0)	1		スクリュー (9974 00 510B) ※3	4
	ナット (9989 10 600)	2		スクリュー (9YA5 50 501) ※2	8
	ショートコード	1		電源中継コード	1
	エレクトロタップ	2		エレクトロタップ	1
	バンド (L=200mm)	10		スポンジテープ (100×30mm 10 枚)	2
	USB ケーブル (灰/青-白)	1		取扱説明書 架装点検シート 部品構成表	各1

- ※1：TV チューナー装着車には使用しません。  
 ※2：TV チューナー装着車には4個使用します。  
 ※3：TV チューナー無し車には使用しません。

- 部品が全てあるか、また汚れ、傷、損傷がないか確認してください。
- 自転車位置演算ユニットにはセンサーが内蔵されています。落としたりぶつけたりなど、乱暴に扱わないでください。

### 【MAZDA ROADSTER 用】

- 自転車位置演算ユニットセット (ND01 V6 600)

部 品	名 称	数量	部 品	名 称	数量
	自転車位置演算ユニット (K131 66 DF0)	1		GNSS アンテナ (C900 V6 930)	1
	ショートコード	1		電源中継コード	1
	両面テープ	1		エレクトロタップ	2
	エレクトロタップ	1		バンド (L=200mm)	10
	スポンジテープ (100×30mm 10 枚)	2		USB ケーブル (灰/青-白)	1
	取扱説明書 架装点検シート 部品構成表	各 1			

## 2. 取付け作業前の確認事項

使用工具（作業を始める前に必ず用意してください。）

☆プラスドライバー

☆ラチェット

☆保護テープを巻いたマイナスイドライバー

☆はさみ

☆トルクレンチ

☆スパナまたはメガネレンチ

☆プライヤー

☆スケール（定規）

☆ソケットレンチ

☆ファスナーリムーバー

☆ニッパー

準備物（作業を始める前に必ず用意してください。）

☆柔らかい布（きれいなものを使用）

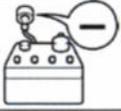
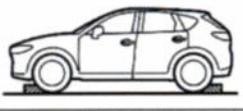
☆マット等

☆ビニールテープ等

☆保護手袋等

☆IPA（イソプロピルアルコール）またはホワイトガソリン

### ⚠ 警告

<p>バッテリーの（-）ターミナルを切り離し、端子が触れないように十分注意してください。作業中のショート事故による部品損傷や感電、ケガの原因となります。</p>	<p>車両は平坦な場所に止め、パーキングブレーキをしっかりとかけ、輪止めをセットして作業を行ってください。作業中に動き出しケガの原因となります。</p>	<p>コネクタの切り離し/接続はコネクタ本体を持って確実に行ってください。断線や接触不良による事故、火災の原因となります。</p>	<p>コネクタは「カチッ」と音がするまで、確実に押し込んでください。ハーネスを引っ張って接続確認を行わないでください。端子抜けやハーネス断線のおそれがあります。</p>
			
<p>ハーネスがブラブラしないようにバンド等でまとめてください。断線やショートによる事故や感電、火災の原因となります。</p>	<p>ハーネスは無理に引っ張らないでください。断線やショートによる事故や、感電、火災の原因となります。</p>		
			

### ⚠ 注意

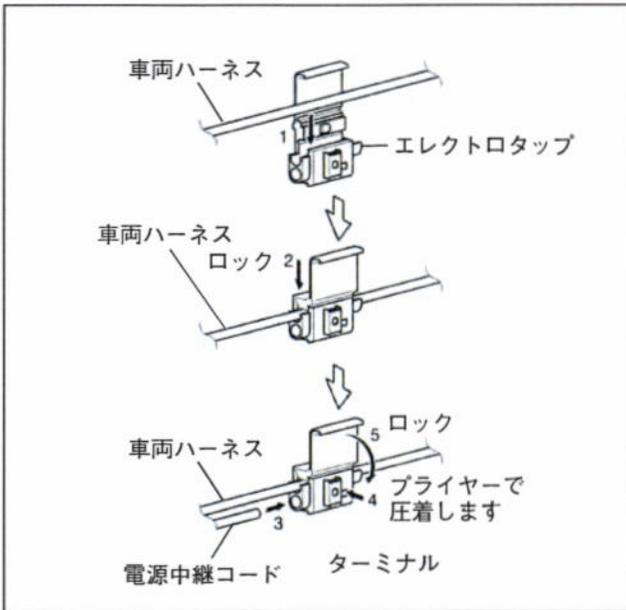
<p>寸法及び使用目的に合った工具を使用して作業を行ってください。部品を破損する原因となります。</p>	<p>ドライバーやファスナーリムーバーには車両の傷付き防止のため、保護テープを巻いてください。</p>	<p>余分な束線バンドはニッパー等で切り取ってください。他部品との干渉により故障の原因になります。</p>	<p>取外した部品/キット部品は傷を付けない様に保護シートの上に置いてください。</p>
			
<p>被着体表面に汚れやホコリ、油分等があると両面テープに汚れが付くため両面テープの接着力が低下する。接着する前には被着体表面を清掃する必要がある。内装は主に中性洗剤で外装部はIPA(イソプロピルアルコール)またはホワイトガソリンなどで清掃する必要がある。</p>			
			

### アドバイス

車両部品の取外し、取付けに関しては、該当車両の整備書を参考にしてください。



### ■ エレクトロタップ(タイプ1)の分岐接続方法



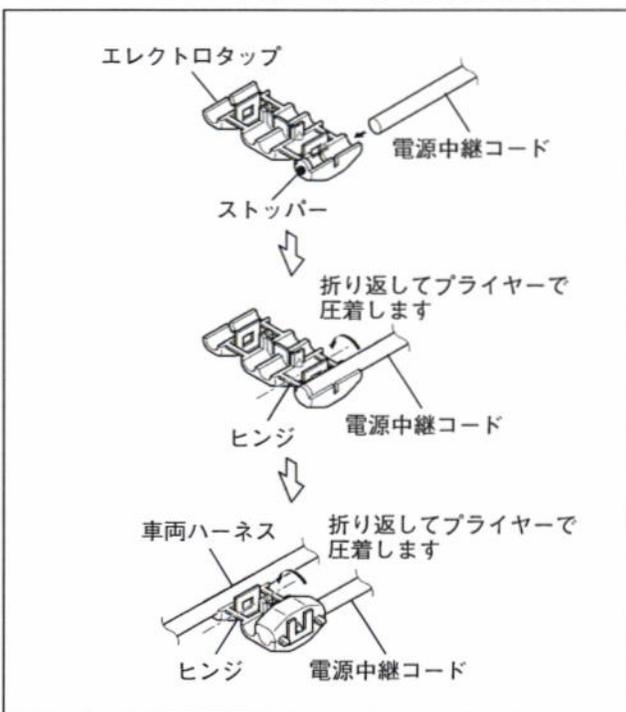
1. 車両ハーネスをエレクトロタップに通します。
2. エレクトロタップを左図矢印の方に折り曲げ、ロックします。

#### ⚠ 注意

- ロック部は、クリック音がするまでしっかり嵌合させてください。

3. 電源中継コードをエレクトロタップの奥まで差し込みます。
4. エレクトロタップのターミナルをプライヤーで圧着します。
5. エレクトロタップを左図矢印の方に折り曲げ、ロックします。

### ■ エレクトロタップ(タイプ2)の分岐接続方法



1. 電源中継コードをストッパーに突き当て、ヒンジ部を折り返します。
2. エレクトロタップをプライヤーでロックが掛かるまで圧着します。
3. 車両ハーネスを通し、ヒンジ部を折り返します。
4. エレクトロタップをプライヤーでロックが掛かるまで圧着します。

@fnoji



## 4. 作動確認

整備書の「自転車位置演算ユニット点検」の要領で下記について確認を行ってください。

1. 自転車位置演算ユニット関連のサービスコードが検出されていないか。
2. コネクティビティマスタユニットの診断アシスト機能を使用し、「診断アシストコード“73”自転車位置演算ユニット情報確認」で診断結果に異常がないことを確認してください。

### 参考

- 整備書 ⇒ ボディー&電気リカル ⇒ エンターテインメント・システム⇒ 自転車位置演算ユニット点検
- 取り付けを行った車両の車台番号に合わせた整備書には「自転車位置演算ユニット点検」が掲載されていない場合があります。

下記の車台番号の整備書を参考にしてください。

デミオ	DJ*** - 500001~
CX-3	DK8** - 100001~ / DKE** - 200001~
アテンザ	GJ*** - 400001~
CX-5	KF** - 200001~
CX-8	KG** - 100001~
ロードスター	ND*** - 300001~

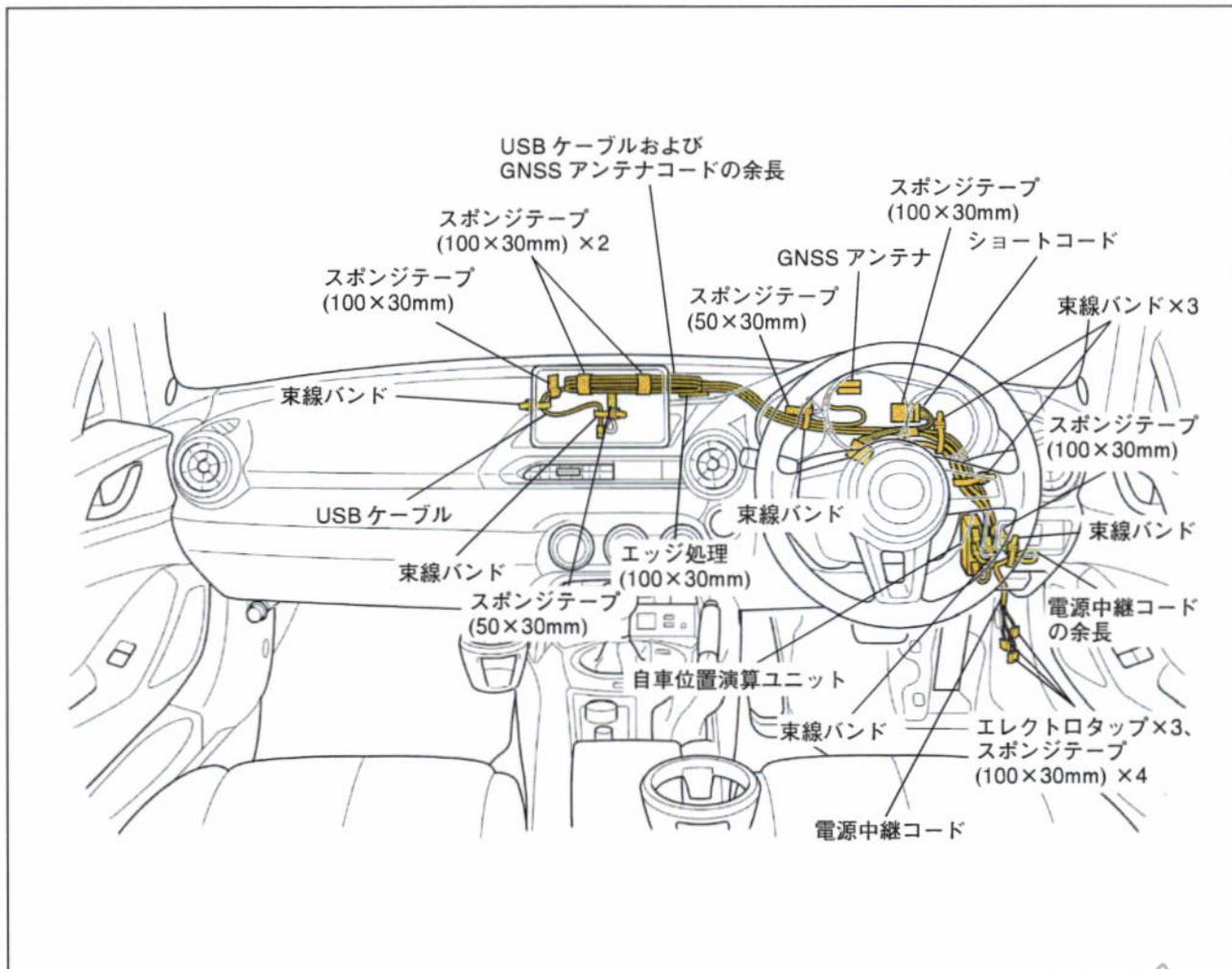
3. 実際に走行し、右折/左折した時、ナビゲーション画面の自転車位置マークも同じ動きをするか確認してください。

## ▲ 取付作業の前に必ず実施してください。

CMUのソフトウェアバージョンが古いと自転車位置演算ユニットが正しく機能しません。

ソフトウェアバージョンが「Ver.59.00.310」以降になっていない場合、ソフトウェアのアップデートを必ず先に実施してください。

### 1. 取付位置概要

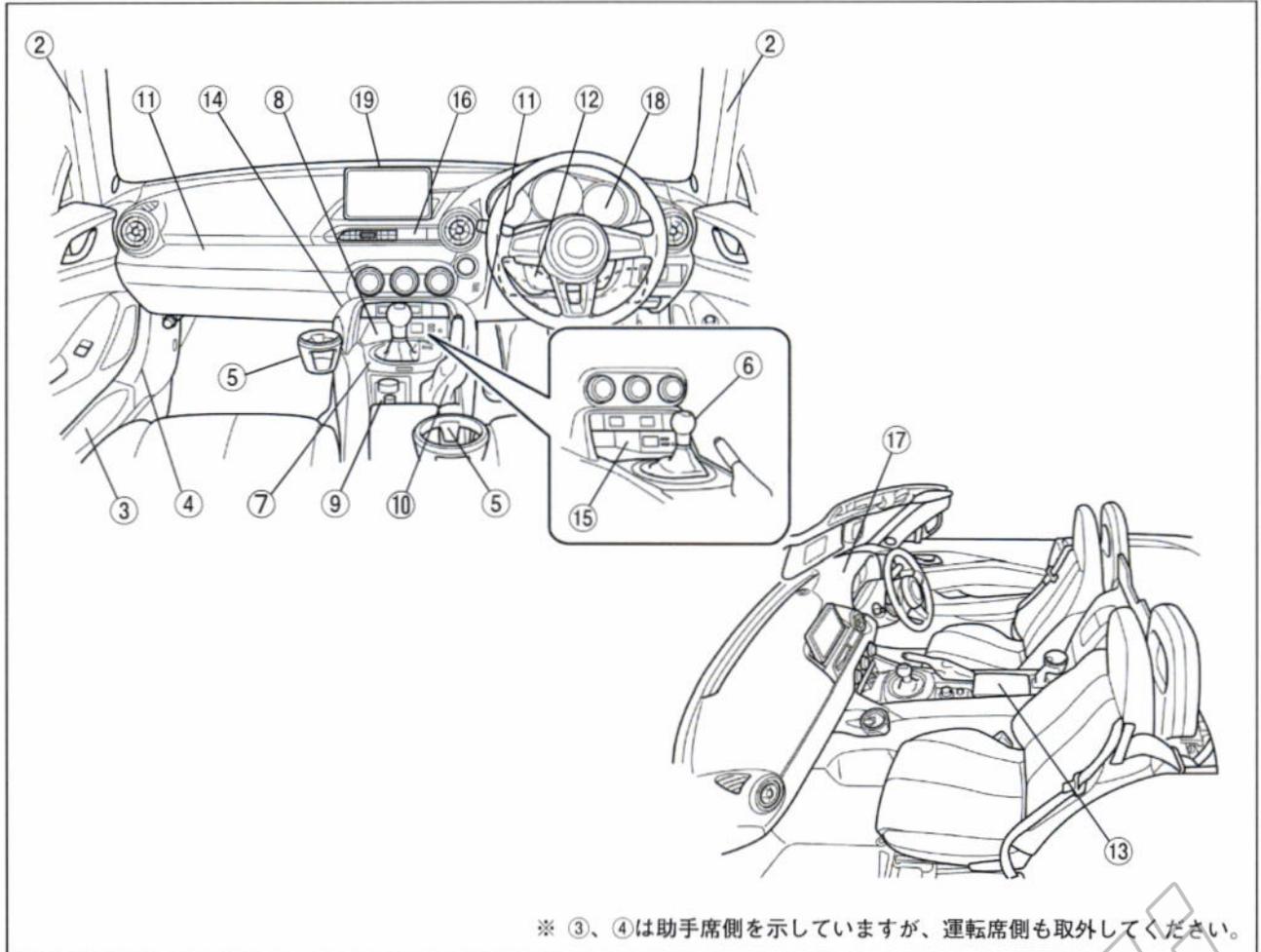


## 2. 車両部品の取外し

以下の車両部品を取外してください。

### ⚠ 注意

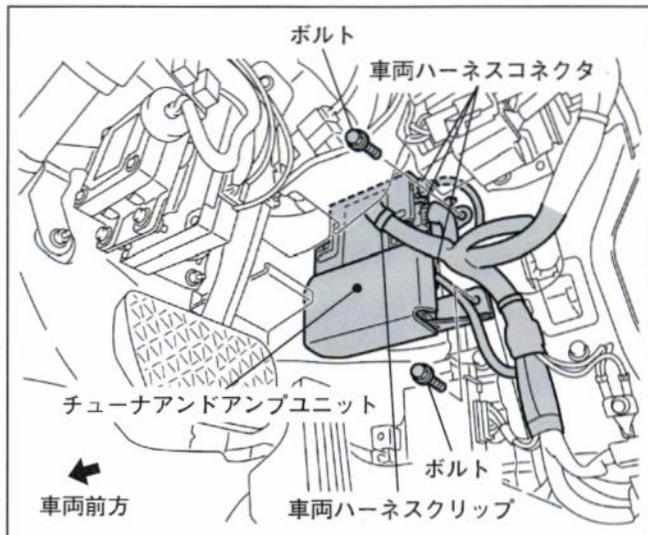
- 取外した車両部品は再使用します。傷を付けたり、紛失しないように十分注意してください。
- 年式によって脱着部品・方法が異なる場合があります。対象車両に合わせた整備書を参考にしてください。整備書の手順に従わないと事故につながる可能性があります。また、車両不具合につながる可能性があります。



- |  |                  |
|--|------------------|
| ① バッテリー (-) ターミナルの切り離し                   | ⑫ ヒーターダクト (運転席側) |
| ② Aピラートリム (運転席側、助手席側)                    | ⑬ リヤコンソール        |
| ③ スカッフプレート (運転席側、助手席側)                   | ⑭ フロントコンソールパネル   |
| ④ フロントサイドトリム (運転席側、助手席側)                 | ⑮ フロントコンソール      |
| ⑤ カップホルダー (運転席側、助手席側)                    | ⑯ センターパネル No.2   |
| ⑥ シフトレバーノブ (MT車) または、<br>セレクトレバーノブ (AT車) | ⑰ メータフード         |
| ⑦ シフトパネル                                 | ⑱ コンビネーションメータ    |
| ⑧ コンソールパネル                               | ⑲ センタディスプレイ      |
| ⑨ アップパネル                                 |                  |
| ⑩ パーキングレバーブーツパネル                         |                  |
| ⑪ ロアパネル (運転席側、助手席側)                      |                  |

# MAZDA ROADSTER

DJ01/GL01/KF01/ND01 V6 600 自車位置演算ユニットセット



1. 車両ハーネスコネクタ、車両ハーネスクリップを切り離します。
2. ボルトを外し、チューナアンドアンプユニットを取外します。

- 取外したチューナアンドアンプユニット、ボルトは再使用しますので、傷を付けたり紛失しないように注意してください。

## 3. 取付け前の準備

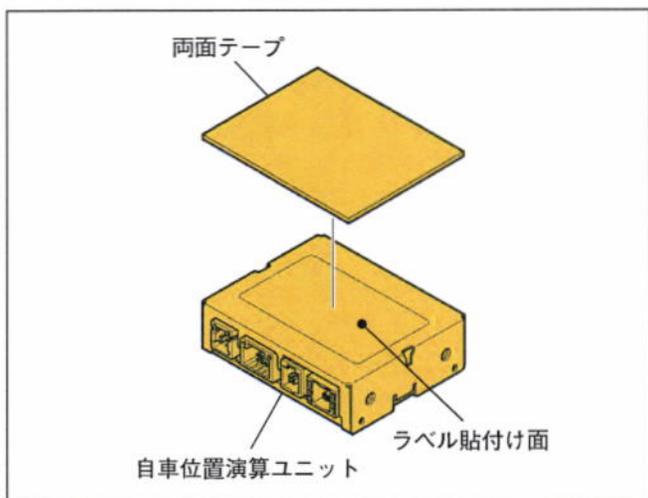
- 部品が全てあるか、また汚れ、傷、損傷がないか確認してください。
- 自車位置演算ユニットにはセンサーが内蔵されています。落としたりぶついたりなど、乱暴に扱わないでください。

### • 自車位置演算ユニットセット (ND01 V6 600)

部品	名称	数量	部品	名称	数量
	自車位置演算ユニット (K131 66 DF0)	1		GNSS アンテナ (C900 V6 930)	1
	ショートコード	1		電源中継コード	1
	両面テープ	1		エレクトロタップ	2
	エレクトロタップ	1		バンド (L=200mm)	10
	スポンジテープ (100×30mm 10 枚)	2		USB ケーブル (灰/青/白)	1
	取扱説明書 架装点検シート 部品構成表	各 1			

## ⚠ 注意

- 自転車位置演算ユニットとチューナアンドアンプユニットのラベル上に両面テープを貼付けます。両面テープを貼る前に、各ユニットのラベル情報を記録保存しておいてください。



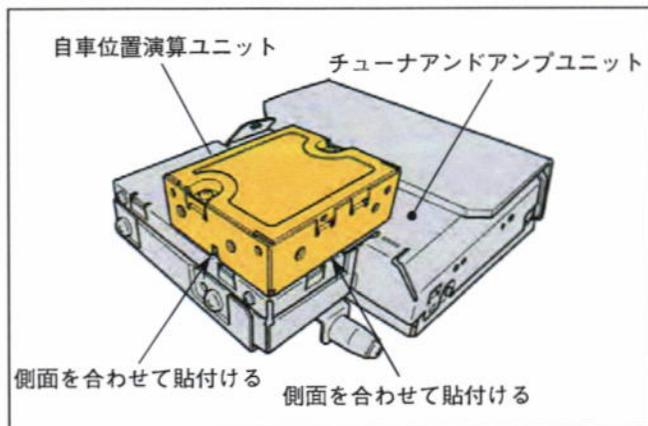
1. 自転車位置演算ユニットの中央に両面テープを貼付けます。

## ⚠ 注意

- 貼付けに必要な接着力が得られないため、必ず脱脂してください。

## ⚠ 注意

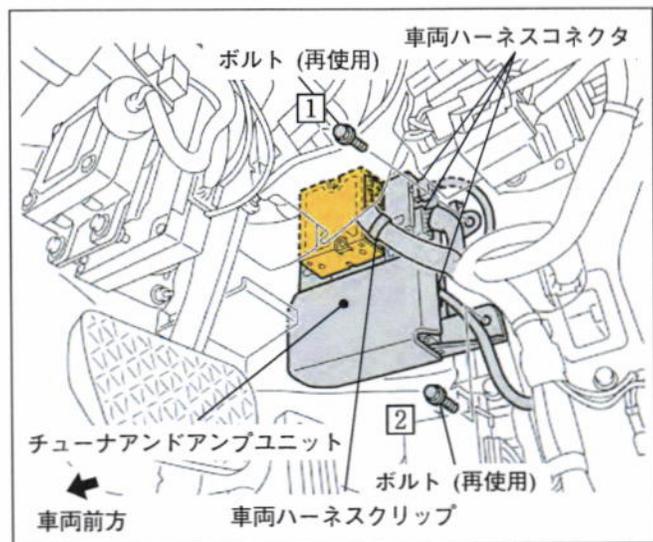
- 自転車位置演算ユニットの取付けを間違えると、右左折時にモニター上の自転車位置が反対の動きをするので、取付向きを間違えないようにしてください。



2. チューナアンドアンプユニットに自転車位置演算ユニットを貼付けます。

## ⚠ 注意

- 貼付けに必要な接着力が得られないため、必ず脱脂してください。

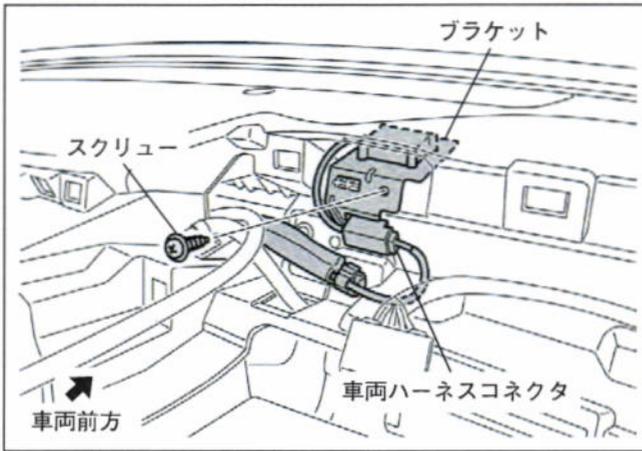


3. ボデーパネルにチューナアンドアンプユニットを取付けます。

- ボルト (再使用)  
締め付けトルク: 19.0-25.0 N·m
- ボルトの締め付けについては、  
① を仮締め → ② を本締め → ① を本締め  
の順で数回に分けて行ってください。

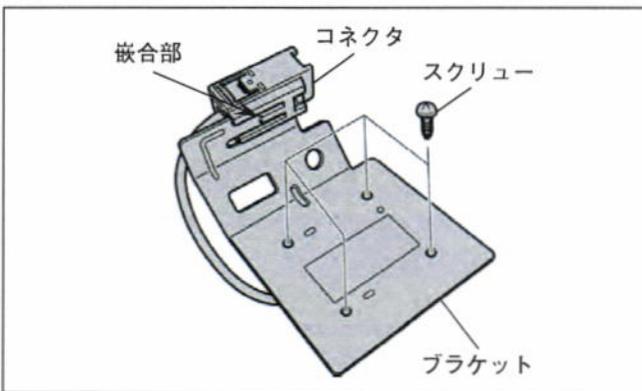
4. 車両ハーネスコネクタ、車両ハーネスクリップを接続します。

## ■ GNSS アンテナの取付け



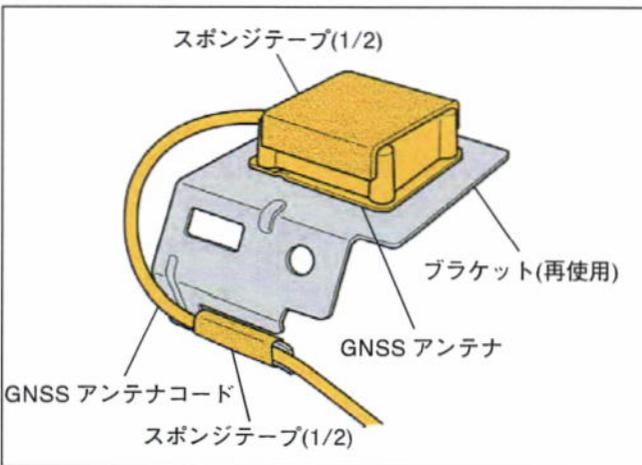
1. 車両ハーネスコネクタを切り離します。
2. スクリューを外し、ブラケットを取外します。

- 取外したスクリューは再使用します。傷を付けたり紛失しないよう注意してください。



3. コネクタの嵌合部を外し、ブラケットから外します。
4. スクリューを外し、GPS アンテナを取外します。

- 取外したブラケットは再使用します。傷を付けたり紛失しないよう注意してください。
- 取外した GPS アンテナ、スクリューは再使用しません。



### ⚠ 注意

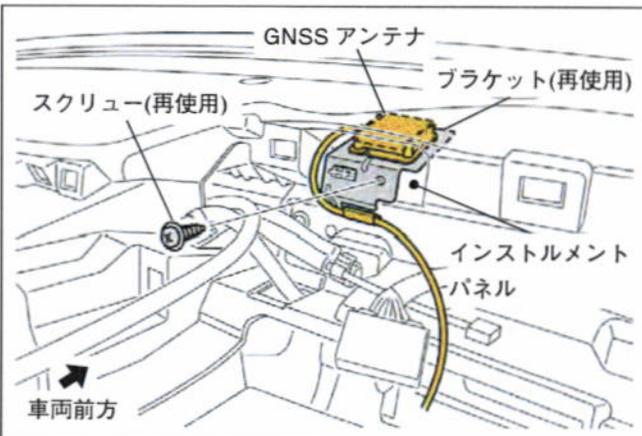
- 貼付けに必要な接着力が得られないため、必ず脱脂してください。

5. GNSS アンテナを再使用のブラケットに貼付けます。

### ⚠ 注意

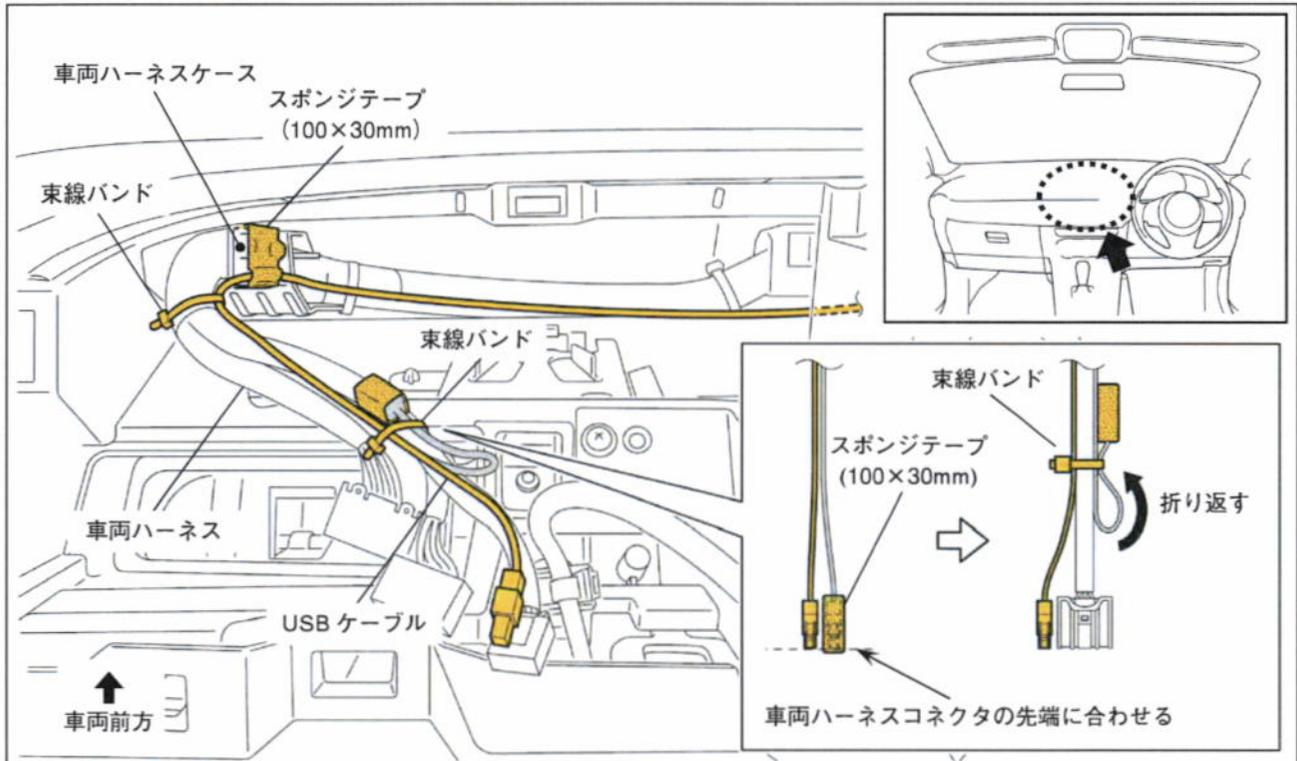
- 取外した GPS アンテナと同じ位置に貼付けてください。

6. 異音防止のため、GNSS アンテナに同梱のスポンジテープ(1/2)を GNSS アンテナ上面に貼付けます。
7. GNSS アンテナに同梱のスポンジテープ(1/2)で GNSS アンテナコードをブラケットに固定します。
8. ブラケットをインストルメントパネルに取付けます。

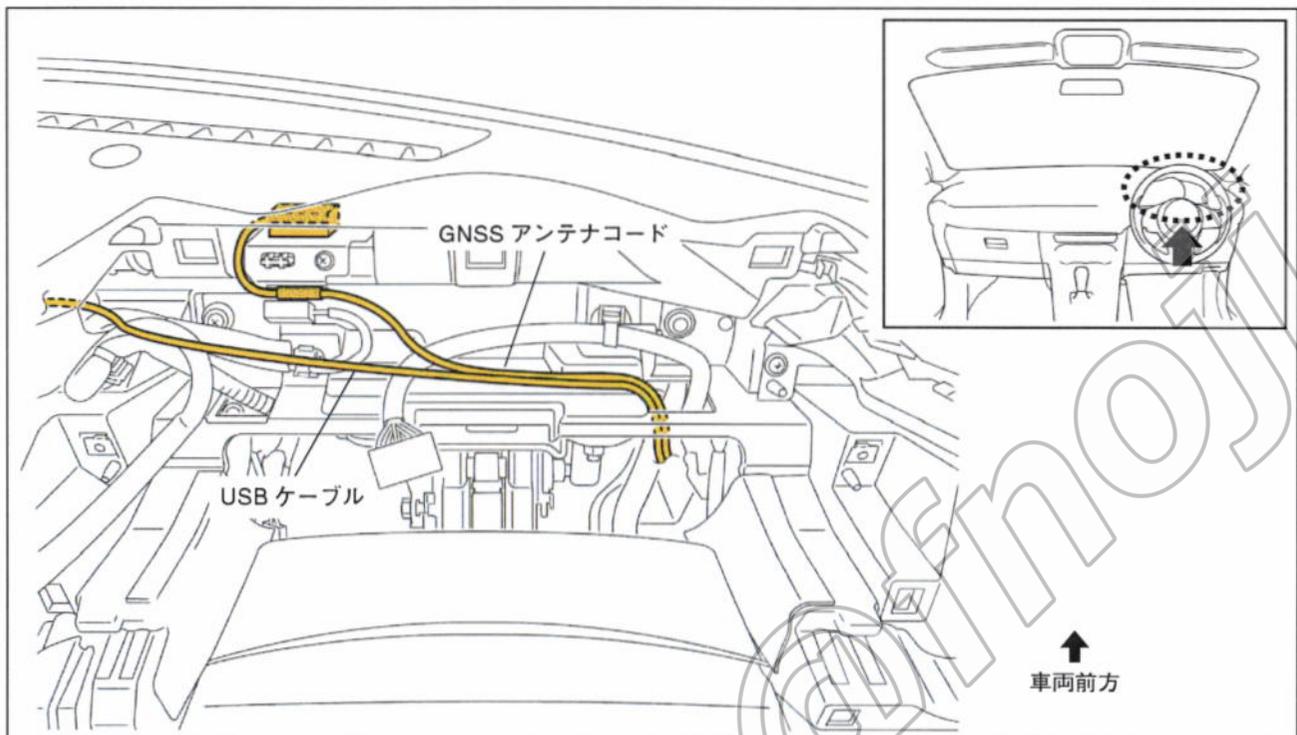


## 4. 配線要領

1. 異音防止のため、切り離した車両ハーネスコネクタにスポンジテープ (100×30mm) を巻付けます。
2. 車両ハーネスコネクタと USB ケーブルコネクタの先端を合わせます。
3. 車両ハーネスコネクタを折り返し、USB ケーブルと一緒に車両ハーネスに束線バンドで固定します。
4. USB ケーブルを車両ハーネスケースにスポンジテープ (100×30mm) で固定し、コンビネーションメータ裏へ引き廻します。



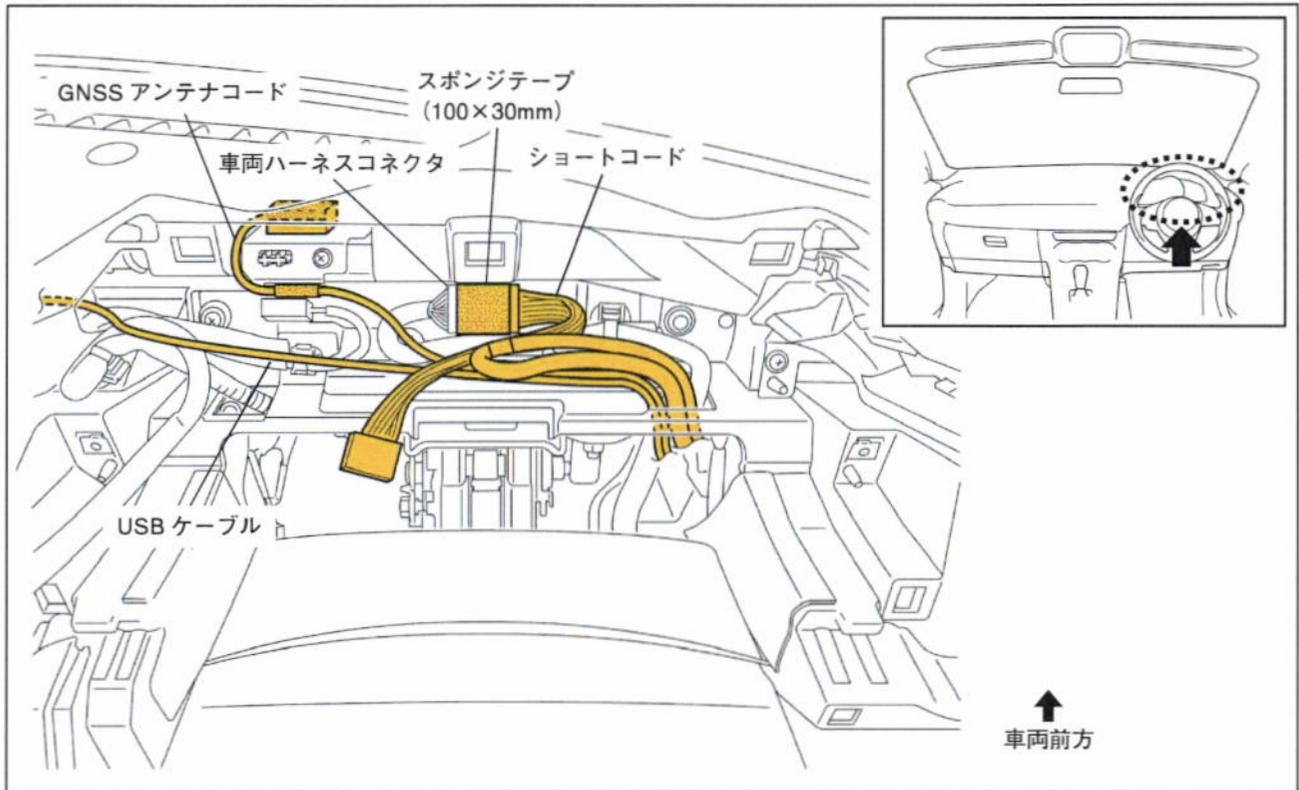
5. USB ケーブルおよび GNSS アンテナコードをコンビネーションメータ裏から自車位置演算ユニット本体位置まで引き廻します。



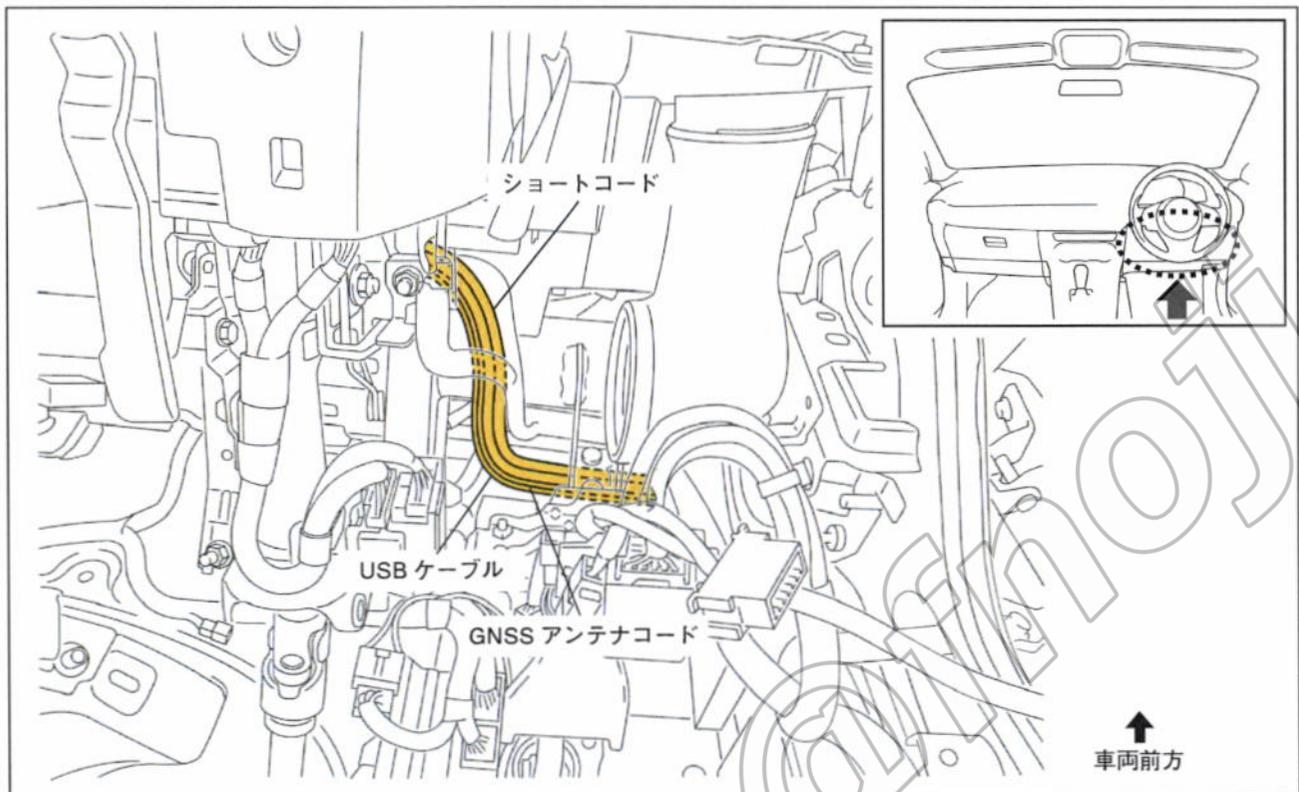
# MAZDA ROADSTER

DJ01/GL01/KF01/ND01 V6 600 自車位置演算ユニットセット

6. ショートコードをコンビネーションメータ裏の車両ハーネスコネクタに割り込み接続します。
7. 接続したコネクタ部にスポンジテープ (100×30mm) を巻付けます。
8. ショートコード、USB ケーブルおよび GNSS アンテナコードを自車位置演算ユニット本体位置まで引き廻します。



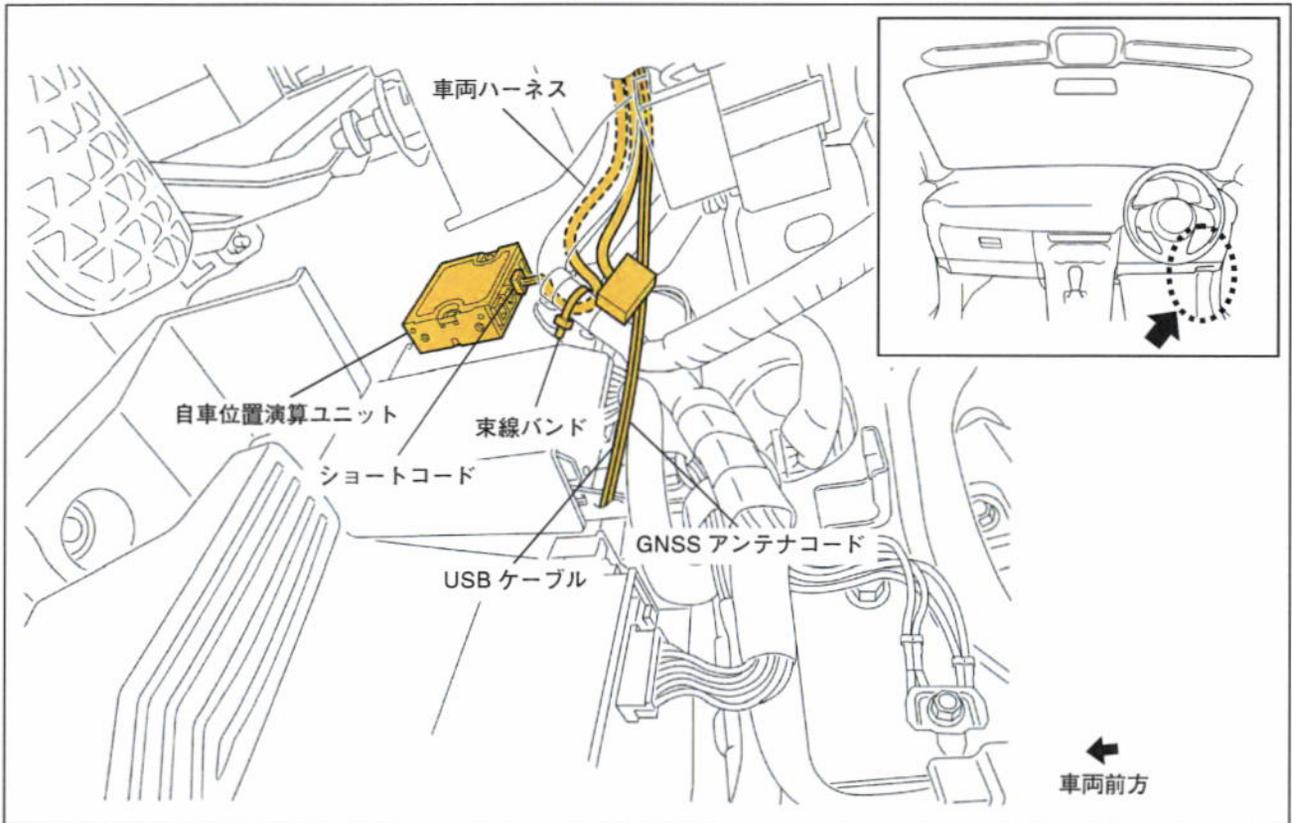
9. ショートコード、USB ケーブルおよび GNSS アンテナコードを自車位置演算ユニット本体位置まで引き廻します。



# MAZDA ROADSTER

DJ01/GL01/KF01/ND01 V6 600 自車位置演算ユニットセット

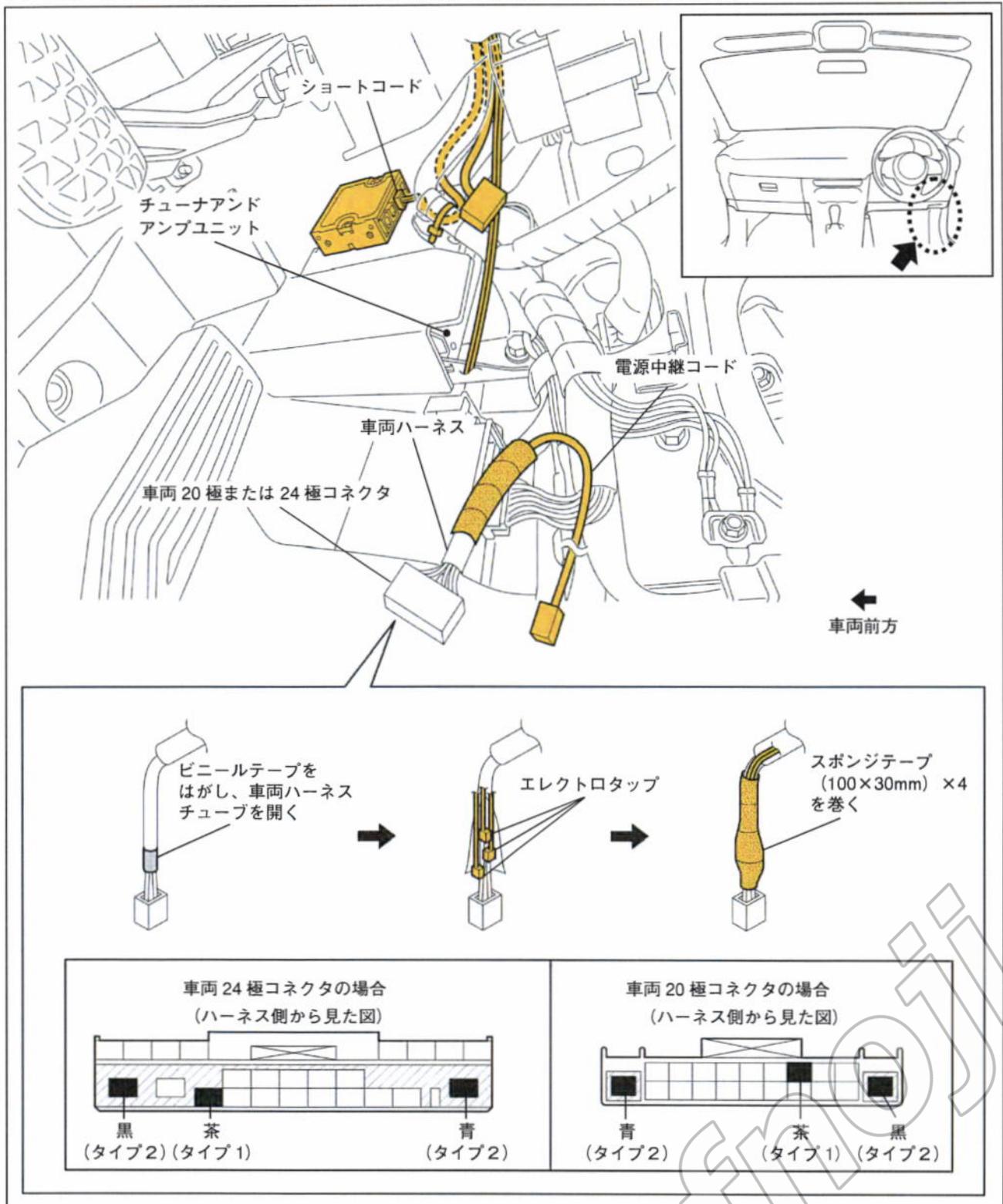
10. 自車位置演算ユニットにショートコードを接続します。
11. ショートコードを車両ハーネスに束線バンドで固定します。



# MAZDA ROADSTER

DJ01/GL01/KF01/ND01 V6 600 自車位置演算ユニットセット

12. チューナアンドアンプユニットから車両 20 極または 24 極コネクタを切り離し、エレクトロタップを使用し  
て車両ハーネスに 3 箇所分岐接続します。
13. エレクトロタップ部と車両ハーネスを一緒にスポンジテープ (100×30mm) で巻き付けます。
14. チューナアンドアンプユニットに車両 20 極または 24 極コネクタを接続します。

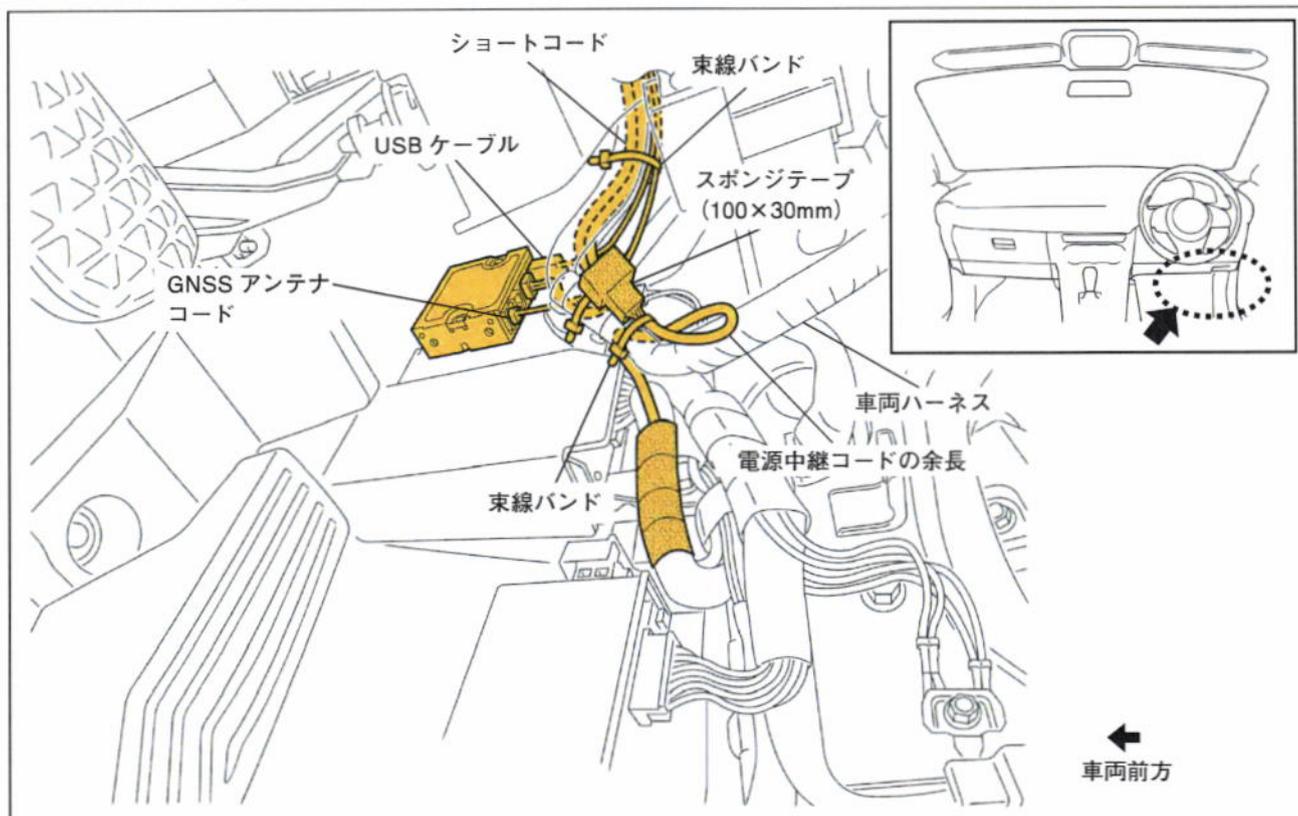


- ※ ユニットに接続するときにはハーネスが曲がる邪魔にならない位置にエレクトロタップをしてください。
- ※ 車両ハーネスの線色は電気配線図を確認してください。

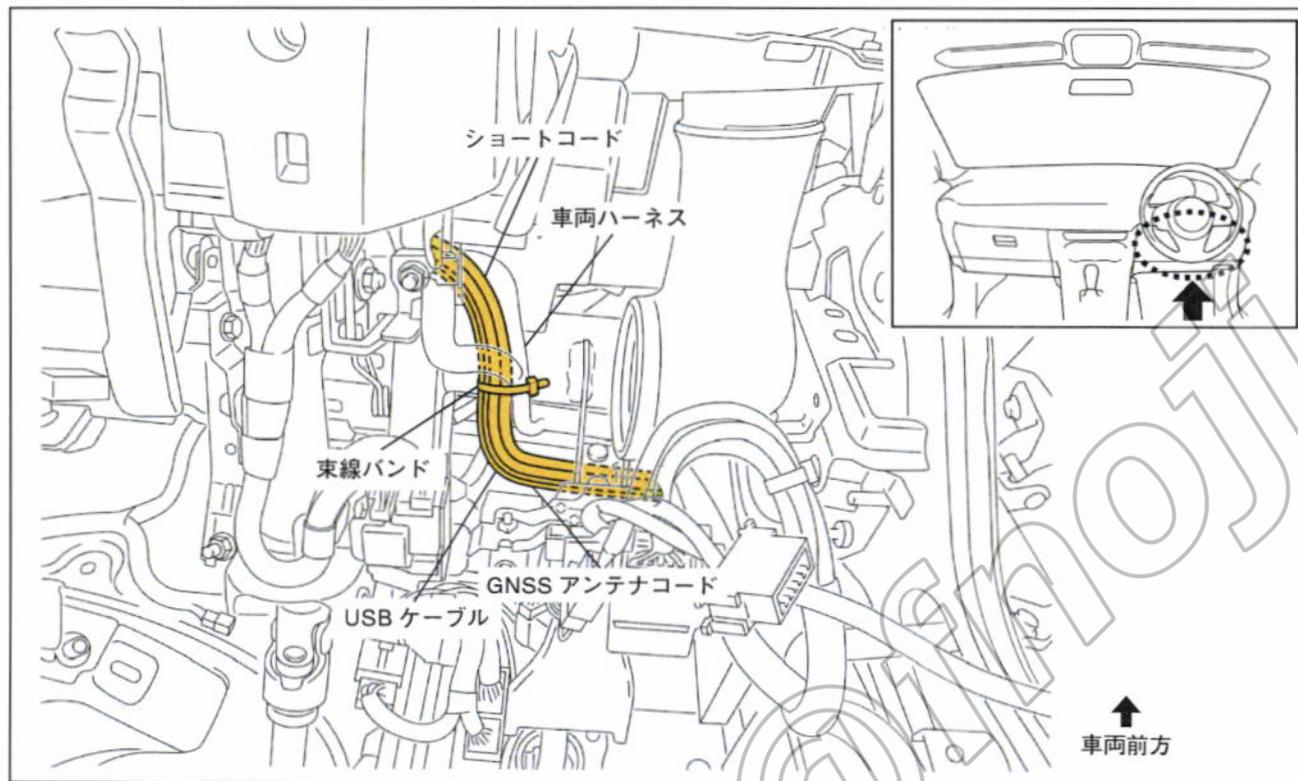
# MAZDA ROADSTER

DJ01/GL01/KF01/ND01 V6 600 自車位置演算ユニットセット

15. ショートコードと電源中継コードのコネクタを接続し、スポンジテープ (100×30mm) を巻付けます。
16. 電源中継コードの余長を束ね、車両ハーネスと一緒に束線バンドで固定します。
17. 自車位置演算ユニットに USB ケーブルおよび GNSS アンテナコードを接続します。
18. ショートコード、USB ケーブルおよび GNSS アンテナコードを車両ハーネスに束線バンドで固定します。



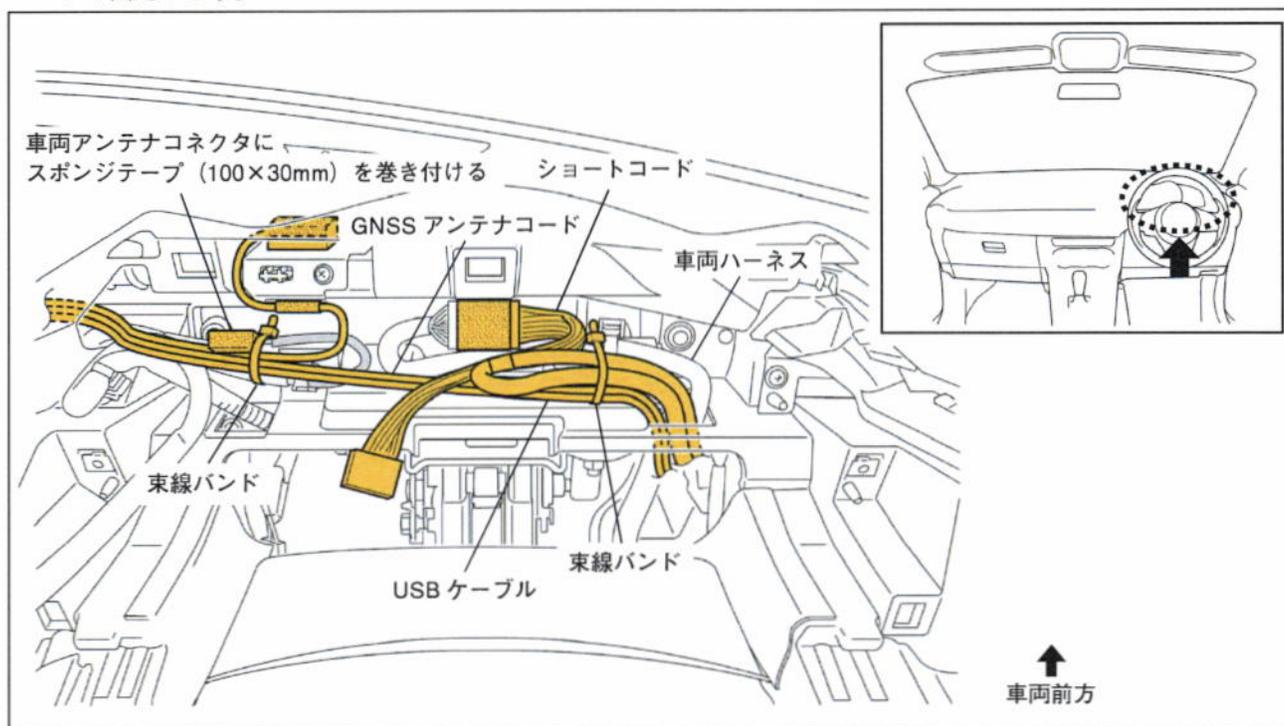
19. ショートコード、USB ケーブルおよび GNSS アンテナコードを車両ハーネスに束線バンドで固定します。



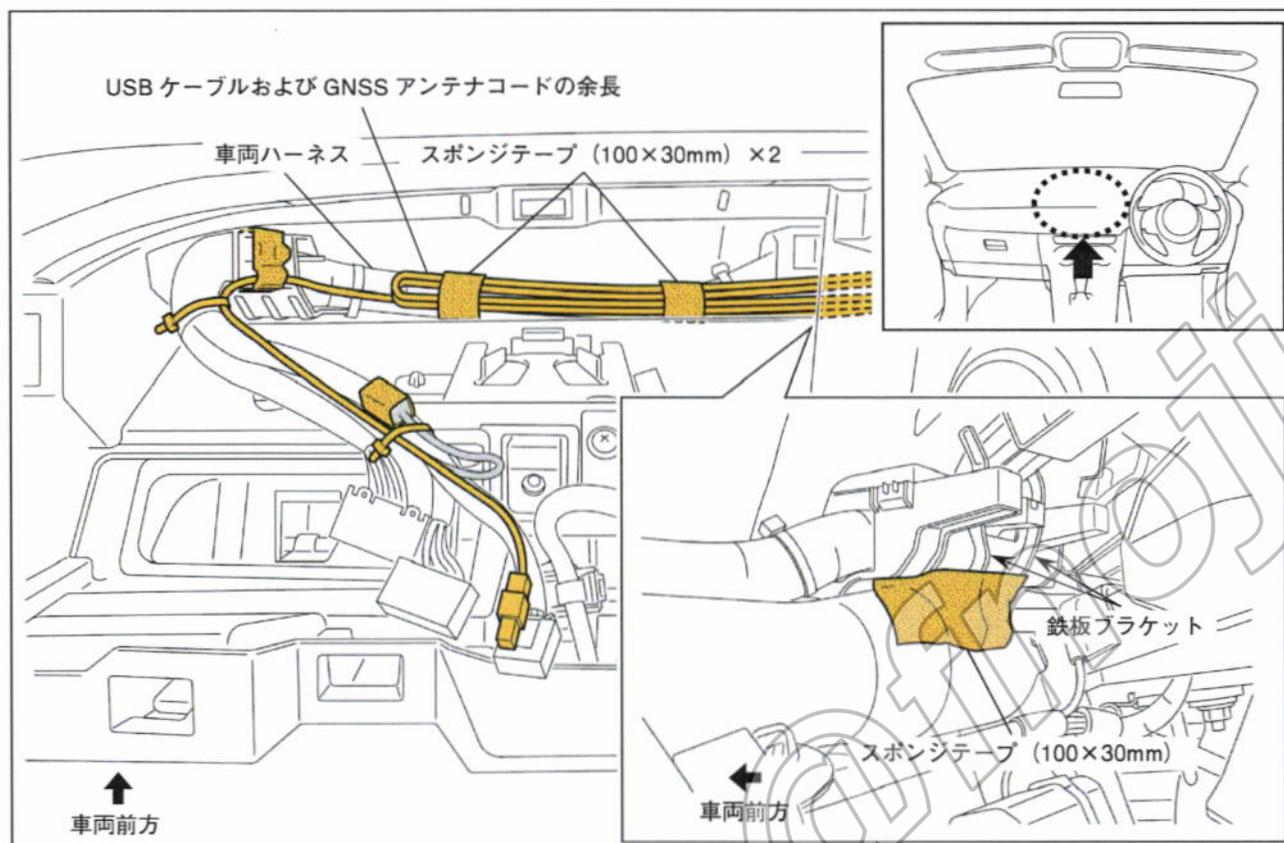
# MAZDA ROADSTER

DJ01/GL01/KF01/ND01 V6 600 自車位置演算ユニットセット

20. ショートコード、USB ケーブルおよび GNSS アンテナコードを車両ハーネスに束線バンドで固定します。
21. 異音防止のため、車両アンテナコネクタにスポンジテープ (100×30mm) を巻き付けます。
22. 車両アンテナコネクタを折り返し、USB ケーブル、GNSS アンテナコードと一緒に車両ハーネスに束線バンドで固定します。



23. エッジ処理のためスポンジテープ (100×30mm) を貼付けます。
24. USB ケーブルおよび GNSS アンテナコードの余長を束ね、車両ハーネスにスポンジテープ (100×30mm) で固定します。



## 5. 復元・点検

1. 「車両部品の取外し」と逆の手順で取付けてください。  
(ショートコード、電源中継コード、USB ケーブル、GNSS アンテナコードの接続は、共通編-8 の「3. 回路図」を参照してください。)
2. 車両整備書の「バッテリー (-) ケーブル端子切り離し／接続後に必要となる作業」を参照し、車両の機能を復元してください。
3. 車両部品の復元点検および用品の取付け、作動確認を行ってください。  
共通編-9 の「4. 作動確認」を参照し、作動チェックを行ってください。